

# 平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

長原	小学校	児童数	34
----	-----	-----	----

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.65	20.12	34.59	42.76	46.24	8.94	138.82	22.47	53.29
大阪市	16.49	19.23	32.34	39.54	49.98	9.37	149.36	22.61	52.79
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
女子	15.06	19.71	39.41	43.18	38.24	9.16	130.35	15.65	56.76
大阪市	16.18	18.20	37.06	37.88	39.64	9.60	143.32	14.07	54.58
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

## 結果の概要

男子は上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走において、全国、大阪市の記録を上回り、体力合計点は大阪市の記録を上回った。女子は上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・ソフトボール投げにおいて、全国、大阪市の記録を上回り、体力合計点は全国、大阪市の記録を上回る結果であった。男子は体力合計点でも昨年度を下回ったのに対して、女子はほとんどの種目で昨年度を上回ることができ、体力合計点で大きく伸びた。毎年課題であった立ち幅とびについては、女子の記録は全国の記録より15cm以上下回り、男子においても全国の記録より12cm以上下回る結果となった。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

学校全体で跳躍力をつけるための取り組みをすすめてきた結果、立ち幅とびの記録について、年度当初と年度末を比べると全校平均で7.8cmアップしている。5年生においては学年全体で7.8cmアップしている。この結果から、年間を通して行ったなわとびタイムと年間3回の立ち幅とびの記録測定が成果として表れたと考える。記録を測定することで子ども達の意欲付けを図り、記録を数値化しすることで取り組みの成果を検証することができた。今後の取り組むべき課題としては、引き続き、体育の授業の中でより多くの時間目標を持って体を動かせるような授業展開の工夫を図っていくとともに、休憩時間の外遊びを勧めたり、業間の体育的取り組みを継続的に行うなど体力・運動能力の向上に努めていく。さらに、地域や家庭にも体育的行事の実施や外遊びを啓発していくなど、家庭、地域との連携を図りながら、運動に対する意欲づけをおこなっていく。

# 平成30年度 体力づくりアクションプラン(提出用)

長原

小学校

児童数

34

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.65	20.12	34.59	42.76	46.24	8.94	138.82	22.47	53.29
大阪市	16.49	19.23	32.34	39.54	49.98	9.37	149.36	22.61	52.79
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
女子	15.06	19.71	39.41	43.18	38.24	9.16	130.35	15.65	56.76
大阪市	16.18	18.20	37.06	37.88	39.64	9.60	143.32	14.07	54.58
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

## 結果の概要

男子は上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走において、全国、大阪市の記録を上回り、体力合計点は大阪市の記録を上回った。女子は上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・ソフトボール投げにおいて、全国、大阪市の記録を上回り、体力合計点は全国、大阪市の記録を上回る結果であった。男子は体力合計点でも昨年度を下回ったのに対して、女子はほとんどの種目で昨年度を上回ることができ、体力合計点で大きく伸びた。毎年課題であった立ち幅とびについては、女子の記録は全国の記録より15cm以上下回り、男子においても全国の記録より12cm以上下回る結果となった。

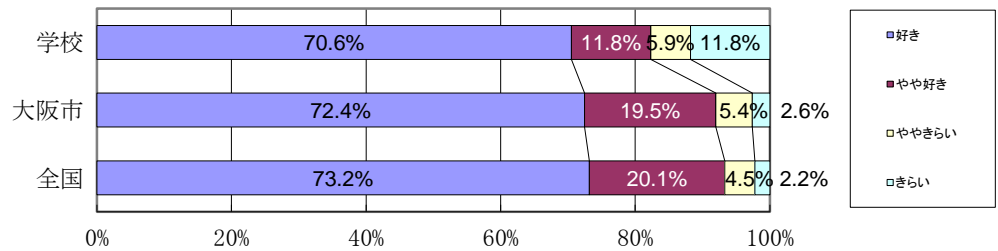
## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

学校全体で跳躍力をつけるための取組みをすすめてきた結果、立ち幅とびの記録について、年度当初と年度末を比べると全校平均で7.8cmアップしている。5年生においては学年全体で7.8cmアップしている。この結果から、年間を通して行ったなわとびタイムと年間3回の立ち幅とびの記録測定が成果として表れたと考える。記録を測定することで子ども達の意欲付けを図り、記録を数値化しすることで取組みの成果を検証することができた。今後の取り組むべき課題としては、引き続き、体育の授業の中でより多くの時間目標を持って体を動かせるような授業展開の工夫を図っていくとともに、休憩時間の外遊びを勧めたり、業間の体育的取組みを継続的に行うなど体力・運動能力の向上に努めていく。さらに、地域や家庭にも体育的行事の実施や外遊びを啓発していくなど、家庭、地域との連携を図りながら、運動に対する意欲づけをおこなっていく。

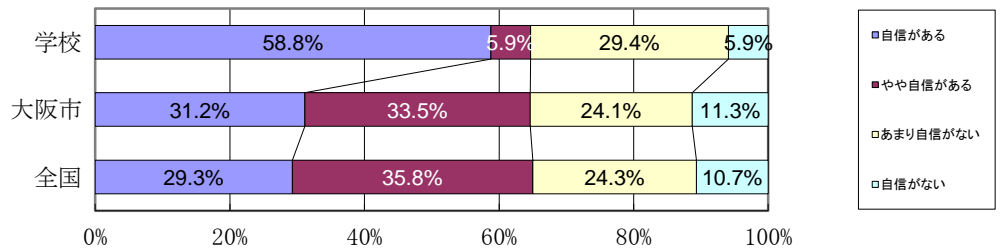
# 運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

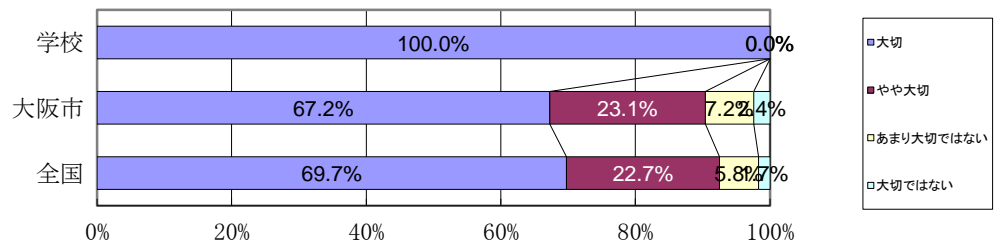
1
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



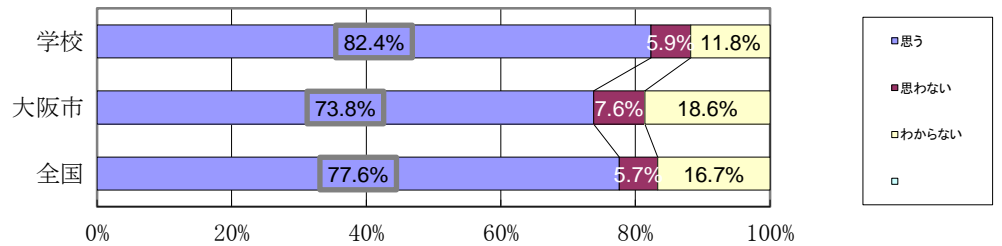
3
自分の体力に自信がありますか



4
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



5
中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



**成果と課題**  
 本校の児童は休憩時間には運動場に出て、遊ぶ児童が大変多い。学級遊びなど学級全員が運動場に出て活動をする取り組みもほとんどのクラスで行っている。業間のかけ足タイムや年間を通して行ったなわとびタイムも意欲的に取り組んでいる。今年度の結果は、「運動やスポーツが好き、大切」という質問に肯定的に答えている児童は100%とはならなかった。ただ、どの質問についても肯定的な答えが全国・大阪市を上回っている。今後も自信を持って運動に取り組む姿勢を育てていきたい。

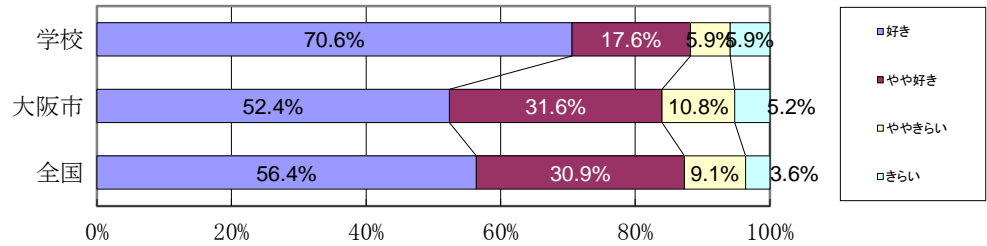
**今後の取組**  
 様々な種目の運動を経験させ、運動することの楽しさや喜びを味わわせる。また、様々な種目の運動を経験する中で継続して運動に取り組む態度を育てるとともに、体力・運動能力の向上に努める。

# 運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

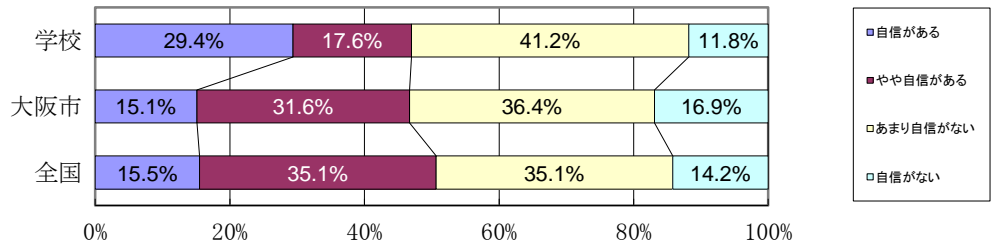
1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



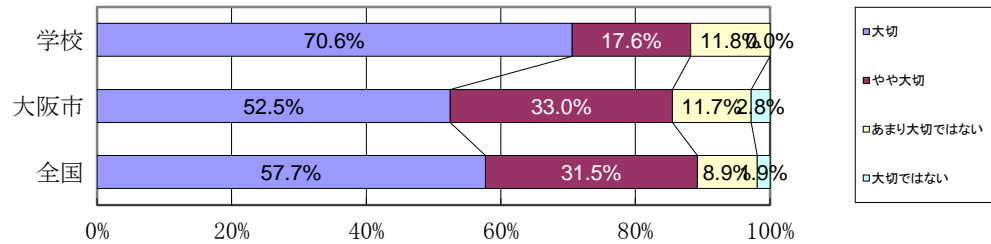
3

自分の体力に自信がありますか



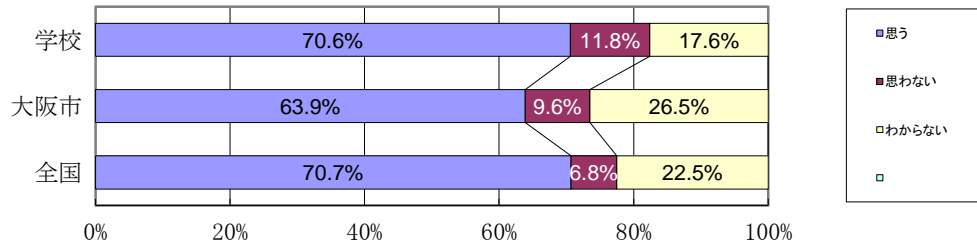
4

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



## 成果と課題

本校の児童は休憩時間には運動場に出て、遊ぶ児童が大変多い。学級遊びなど学級全員が運動場に出て活動をする取り組みもほとんどのクラスで行っている。女子も男子同様、業間のかけ足タイムや年間を通して行ったなわとびタイムも意欲的に取り組んでいる。今年度の結果、「運動やスポーツが好き、大切」という質問に肯定的に答えている児童は100%といはならなかった。ほとんどの質問について、肯定的な答えが全国・大阪市を上回っているが、「自分の体力に自信がある」という質問に肯定的に答えている児童が全国を下回った。

## 今後の取組

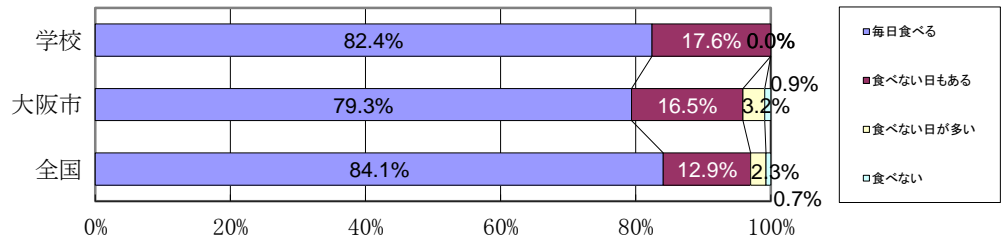
女子についても、様々な種目の運動を経験させ、運動することの楽しさや喜びを味わわせる。また、様々な種目の運動を経験する中で継続して運動に取り組む態度を育てるとともに、体力・運動能力の向上に努める。

# ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

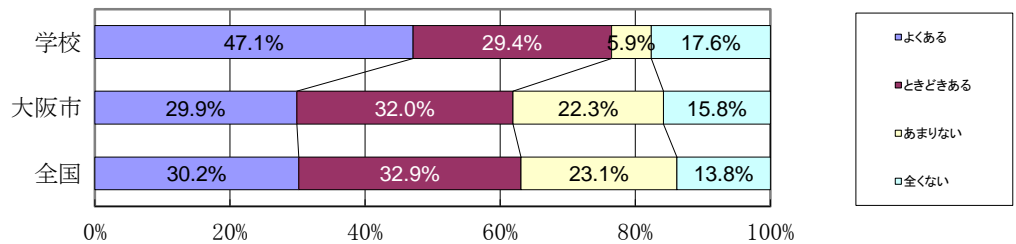
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



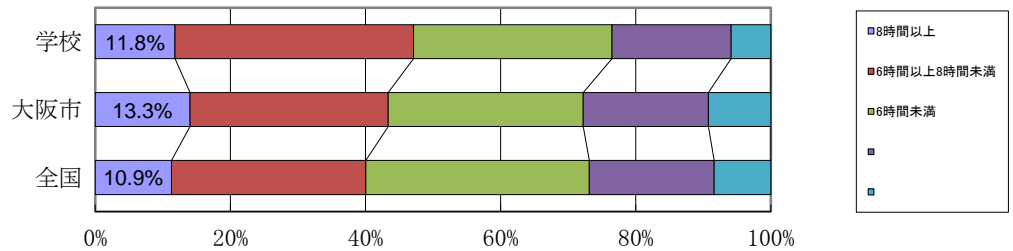
15

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



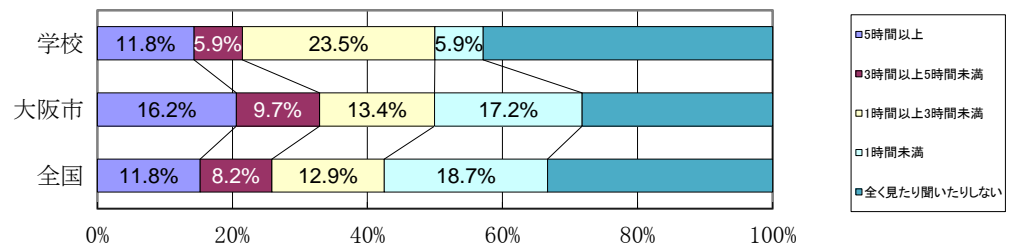
9

毎日どのくらいねていますか。



10

ふだんの平日(月-金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除きます)



## 成果と課題

本校では、健康的な生活習慣を身につけさせるため、「早寝・早起き・朝ごはん」を継続して指導している。就寝時間については、学年ごとに目標時間を設定し、「生活リズムアンケート」を年に4回行ったり、保健だよりで保護者に啓発したりしてきた。今回の調査では6時間以上睡眠時間を確保している児童は昨年度より減少している。また、1日に5時間以上テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりするという児童は11.8%で、これは昨年度より大きく減少した。今後、家庭とも連携を取りながら改善を図っていく必要がある。

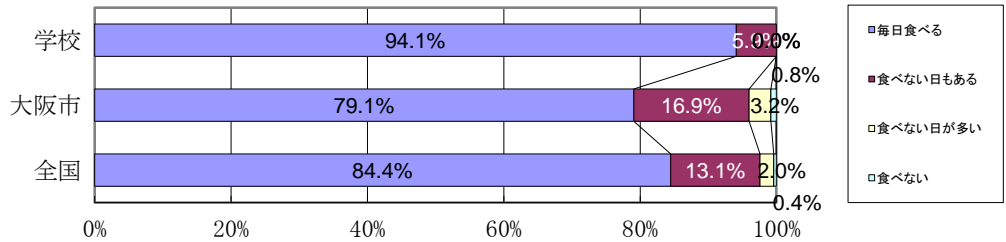
## 今後の取組

健康的な生活習慣を身につけさせるため、「早寝・早起き・朝ごはん」を今後も継続して指導していく。また、下校後の生活については家庭との連携が重要であると考え、学校だよりや保健だより、HP、懇談会など様々な機会を通して、家庭への啓発を行っていく。

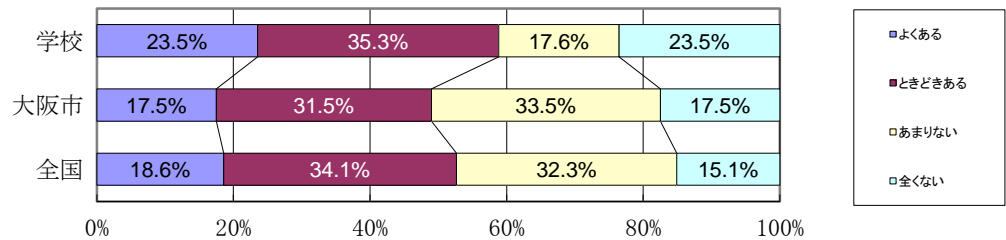
# ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

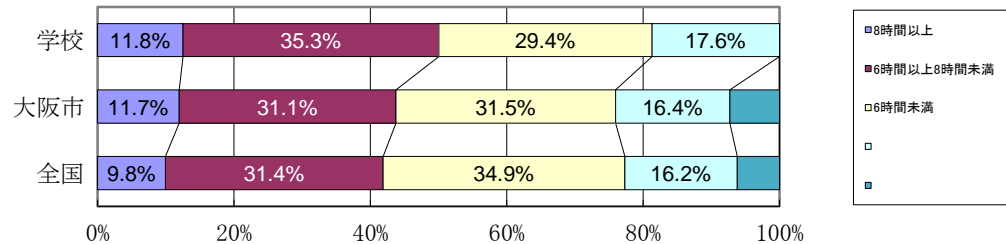
7
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



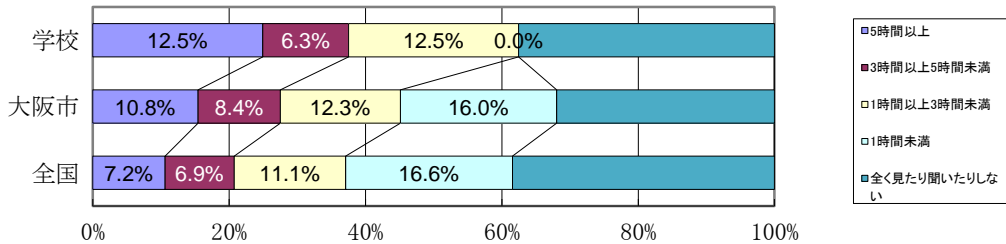
15
家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



9
毎日どのくらいねていますか。



10
ふだんの平日(月-金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除きます)



## 成果と課題

本校では、健康的な生活習慣を身につけさせるため、「早寝・早起き・朝ごはん」を継続して指導している。朝ごはんを毎日食べているという児童は、今回の調査では94.1%で昨年度より良い結果であった。また、1日に5時間以上テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりするという児童が12.5%で男子に比べ多い。この結果は全国や大阪市より低い。課題としては、高学年になるほど就寝時間が遅く、睡眠時間が短くなっていることから、今後、家庭とも連携を取りながら改善を図っていく必要がある。

## 今後の取組

健康的な生活習慣を身につけさせるため、「早寝・早起き・朝ごはん」を今後も継続して指導していく。また、下校後の生活については家庭との連携が重要であると考え、学校だよりや保健だより、HP、懇談会など様々な機会を通して、家庭への啓発を行っていく。

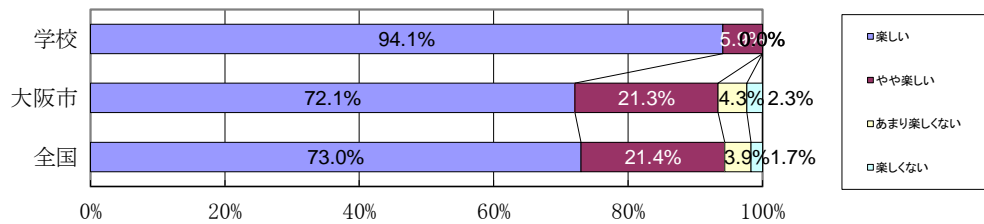


# 体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

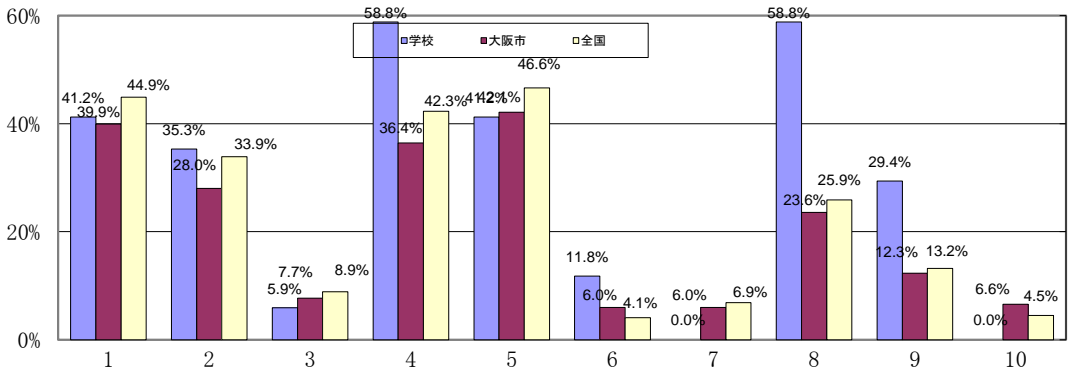
19

体育の授業は楽しいですか



24

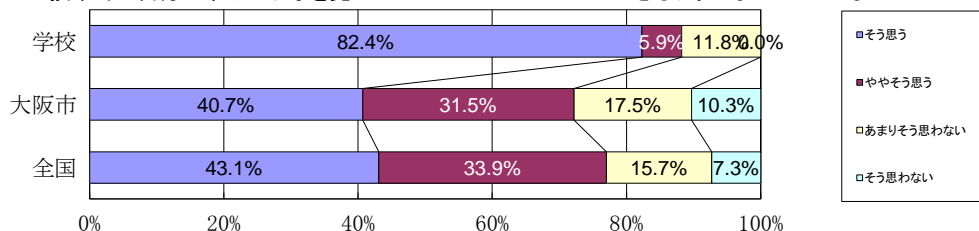
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

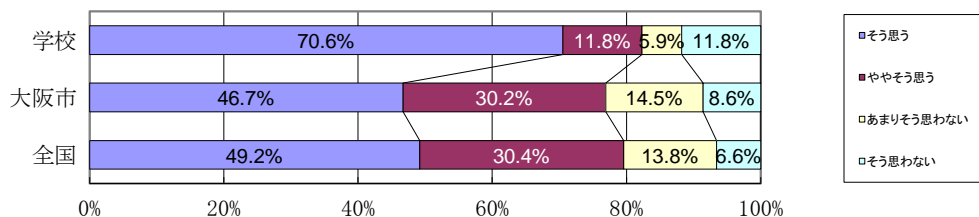
27

体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う。



28

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



## 成果と課題

「体育の授業は楽しいですか」とい質問について、「楽しい」「やや楽しい」と応える児童は100%である。また、「体育の授業で学んだことを授業以外でもやってみようと思う」や「将来に役立つと思う」という質問についても、「そう思う」「ややそう思う」が全国や大阪市より上回っている。この結果から、各指導者が日々体育の授業を工夫して行ってきた成果であると考えられる。また、児童が意欲的に楽しんで授業に臨んでいることがわかる。昨年の課題であった「体育の授業でできなかったことができるようになったきっかけ」を問う質問について、「できるようになったことがない」という答えが0%であった。「できた」という達成感を味わわせる取り組みの成果が出ている。

## 今後の取組

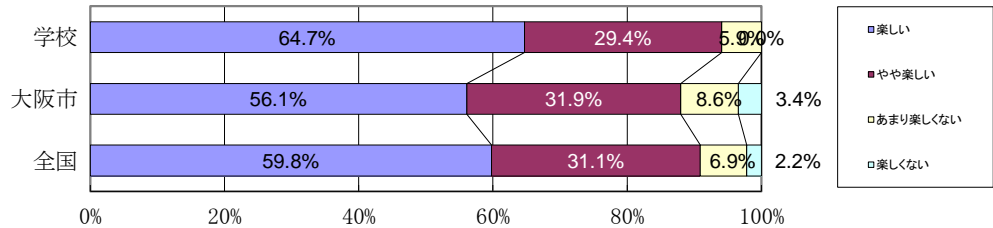
引き続き、様々な運動を体験させるとともに、指導方法の工夫・改善をさらに図っていく。また、「できた」という達成感を様々な種目で味わわせる工夫をしていく。

# 体育の授業について（女子）

質問番号 質問事項

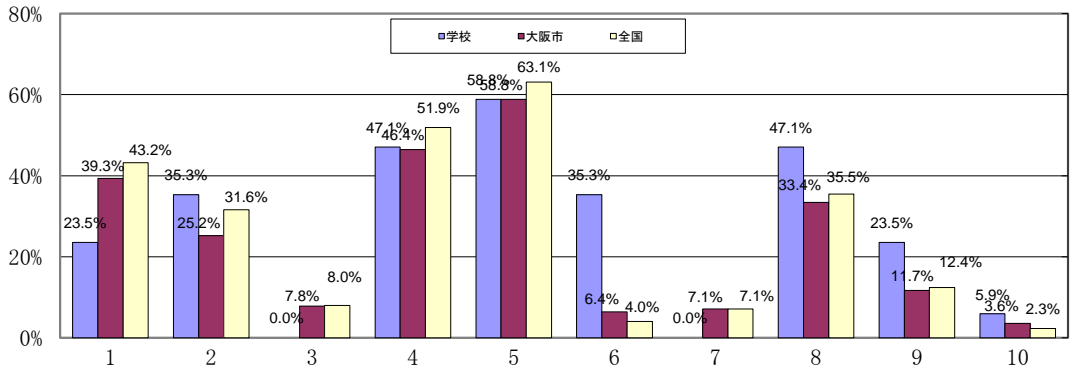
19

体育の授業は楽しいですか



24

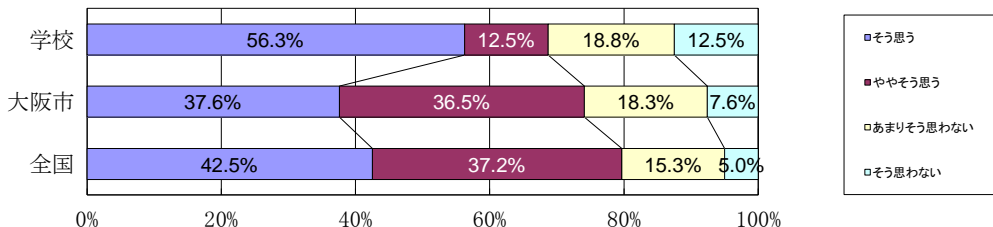
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

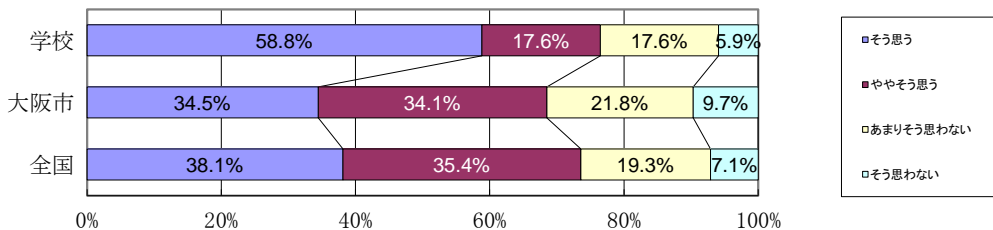
27

体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う。



28

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



## 成果と課題

「体育の授業は楽しいですか」とい質問について、「楽しい」「やや楽しい」と応える児童は100%ではなかった。また、「体育の授業で学んだことは将来に役立つと思う」という質問については、「そう思う」「ややそう思う」が全国や大阪市より下回っている。この結果から、日々体育の授業を工夫して行ってきた取り組みを再検討する必要があると考える。児童が意欲的に楽しんで授業に臨む授業のあり方を考えていく必要がある。

## 今後の取組

引き続き、様々な運動を体験させるとともに、指導方法の工夫・改善をさらに図っていく。また、「できた」という達成感を様々な種目で味わわせる工夫をしていく。

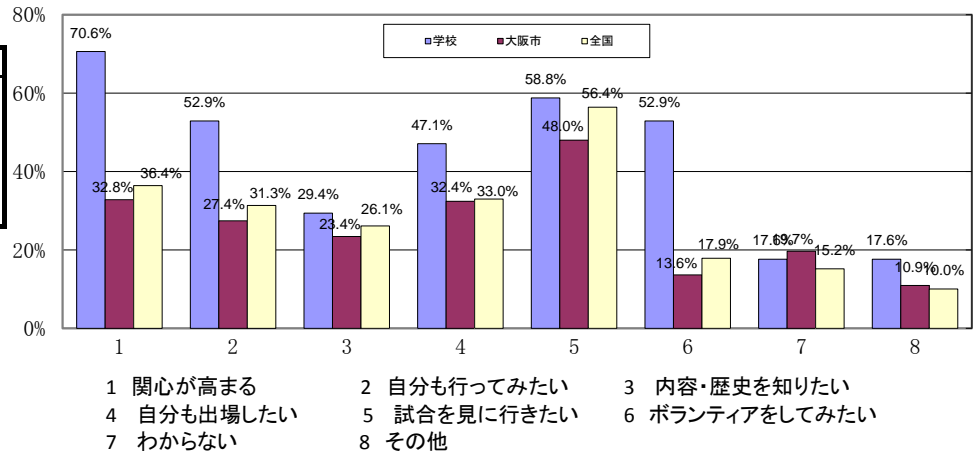


## その他（男子）

質問  
番号 質問事項

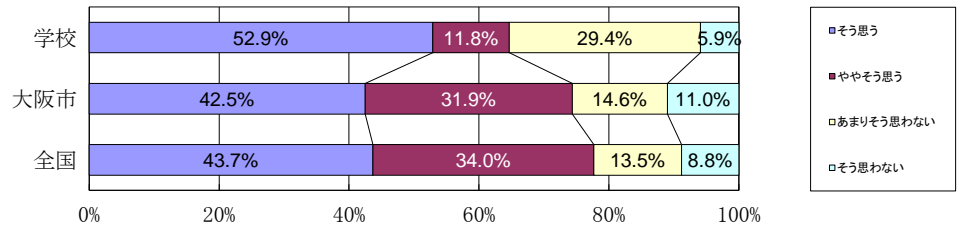
30

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



33

自分には、よいところがあると思う



### 成果と課題

「オリンピックやパラリンピック」への気持ちは「関心が高い」「自分も出場したい」「試合を見に行きたい」など自らが運動に関わりたい、やってみたいという前向きな児童が多いことがわかる。「自分には良いところがある」とい質問についても、肯定的に答えている児童は64.7%で全国や大阪市平均より少なかった。学校生活の様々な場面で子どもの頑張りをほめ、自尊心や自己有用感が高める必要がある。

### 今後の取組

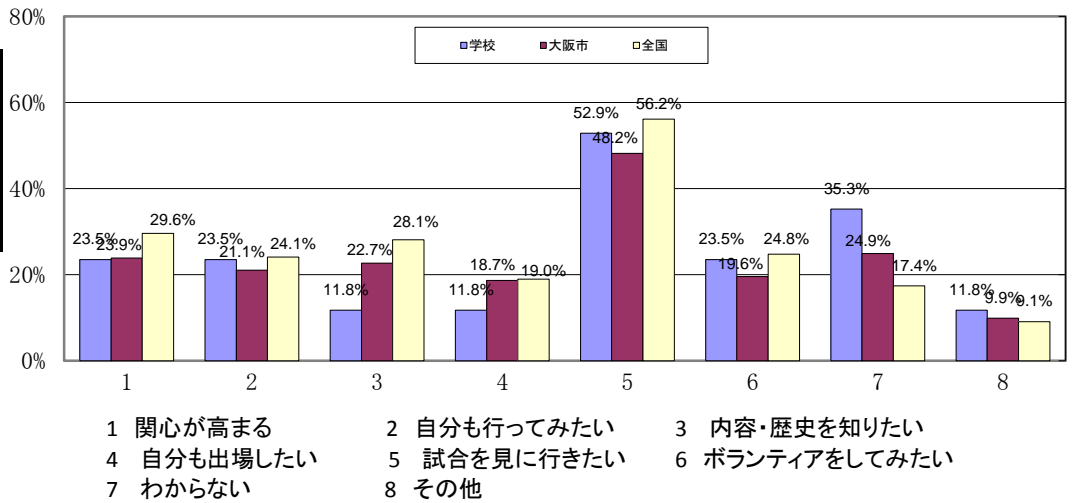
引き続き、学校生活の様々な場面で子どもの頑張りをほめ、自尊心や自己有用感を育てていく。また、様々なスポーツに興味・関心が持てるよう、学校だけでなく地域や家庭でも運動をする機会を増やしてもらえよう啓発を行う。

## その他（女子）

質問  
番号 質問事項

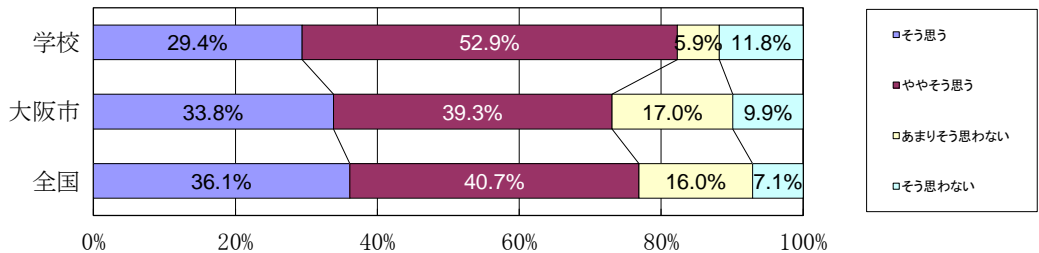
30

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



33

自分には、よいところがあると思う



### 成果と課題

「オリンピックやパラリンピック」への気持ちは「試合を見に行きたい」が一番多かった。また、「わからない」と回答する割合も高かった。興味・関心の高さには男女差があった。「自分には良いところがある」とい質問についても、肯定的に答えている児童は81.3%で全国や大阪市より多かった。学校生活の様々な場面で子どもの頑張りをほめることで、自尊感情や自己有用感が育ちつつある。

### 今後の取組

引き続き、学校生活の様々な場面で子どもの頑張りをほめ、自尊感情や自己有用感を育てていく。また、様々なスポーツに興味・関心が持てるよう、学校だけでなく地域や家庭でも運動をする機会を増やしてもらえるよう啓発を行う。